

臨床看護学講座／成人・老年看護学領域

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	酒井 明子	平成 10 年 4 月－（平成 20 年 8 月より現職）
准教授	磯見 智恵	平成 13 年 4 月－平成 23 年 3 月，平成 26 年 4 月－（平成 26 年 4 月より現職）
准教授	中村 陽子	平成 16 年 9 月－
准教授	繁田 里美	平成 23 年 4 月－
准教授	月田 佳寿美	平成 17 年 4 月－（平成 23 年 4 月より現職）
講師	麻生 佳愛	平成 15 年 4 月－（平成 23 年 4 月より現職）
助教	清水 誉子	平成 21 年 4 月－
助教	高久 範江	平成 26 年 4 月－
助教	森川 寛之	平成 26 年 4 月－
教務補佐	鈴木 美栄子	平成 26 年 5 月－（平成 21 年 5 月－平成 26 年 3 月：助教）

2. 研究概要

●研究概要

成人・老年看護学領域は、ライフサイクル上の青年期～壮年期、老年期にある人を対象とし、健康上の問題、身体的・精神的・社会的な対象の理解、その対象と家族への看護ケア、ケアを実践する専門職者に関する研究など、研究分野は広範かつ多岐にわたる。主な研究テーマを以下に示す。

①がん患者の理解および全人的な看護援助に関する研究 ②慢性疾患、複数の疾患を併せ持つ患者へのセルフケア支援 ③認知症高齢者へのケアを実践する専門職の認知に関する研究 ④看護実践能力の習熟に関する教育

●キーワード

がん，糖尿病，高齢者 QOL，看護教育 ケアリング，セルフケア リハビリテーション

●業績年の進捗状況

「がん看護」では、終末期がん患者・家族とのコミュニケーションにストレスを感じる看護師の思考に関する研究を論文として発表した。乳がん患者の配偶者の体験と思いに関する研究を学会発表した。

「成人看護（慢性期）」では、2014 年度より、基盤研究（C）「糖尿病とその他の疾患を併せ持つ高齢患者の看護支援システムの構築」（継続）の研究課題に取り組んでいる。

「老年看護」では、「重病下の認知症高齢者の『せん妄』に関する病院看護師の意識」に関する研究成果を論文として発表した。

平成 27 年度に開講する大学院医学系研究科看護学専攻「がん看護専門看護師教育課程」に向け、がんに関する専門的知識、エビデンスに基づく的確な臨床判断、熟練した高度なケア技術とケアの知識を用い、がん患者および家族に対する看護を実践できる専門職を育成するため、がん診療に携わる医師や各分野の認定看護師、がん看護専門看護師と連携を図っている。

●特色等

学部教育では、「成人看護学概論」、「急性期看護活動論」、「慢性期看護活動論」、「リハビリテーション看護活動論」、「がん看護論」、「ターミナル看護論」、「老年看護学概論」、「老年看護活動論」、「感染予防看護論」、「成人看護学実習Ⅰ」、「成人看護学実習Ⅱ」、「看護技術実習」、「老年看護学実習」、「卒業研究」を担当する。

大学院医学系研究科看護学専攻では、「成人看護学特論」、「成人看護学演習」、「成人看護学特別研究」、「老年看護学特論」、「老年看護学演習」、「老年看護学特別研究」を担当する。

成人看護学研究会は、成人看護学における看護実践、教育に関する課題について、情報交換、相互学習により理解を深めることを主旨とし、今年度は「看護教育」をテーマに年 4 回開催した。本領域の教員と修士課程の学生の他、県内の看護系の大学・専門学校の教員、臨床看護師らが参加し、看護教育に関する研究の動向、参加者が体験した事例等を報告し、看護教育の質向上につながる意見交換を行った。

がん患者とその家族が参加する患者会「みのり会」では、定例会を年 4 回開催している。定例会では、会員の体験や医師・看護師による最近の医療に関する講演、会員間の交流会が行われ、看護学生のボランティア、附属病院の医師や認定看護師らの協力を得ながら、がん患者とその家族に対する身体的・精神的な支援を継続している。

● 本学の理念との関係

福井大学の理念、「高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進する」では、各教員が他の専門職や医療機関と協働し研究活動を展開している。研究成果は、それぞれの専門分野において、看護教育や継続教育に還元している。

「地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成」では、それぞれの専門分野の研究活動にて得た知見を、学生への講義、演習、研究指導に活かし、日々研鑽を続けている。

「独創的でかつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践する」では、高度先進医療を提供する本学医学部附属病院や、各看護分野の認定看護師と協力し、地域に生活する人々の健康維持・向上に寄与するための教育活動・研究活動を継続している。成人・老年看護学領域では、看護の対象である「人」を尊重し、高度な知識と技術を持ち、信頼し得る専門職を育成するため、看護教育、研究活動、地域貢献に取り組んでいる。

3. 研究実績

区 分		編 数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2009～2014 年分	2014 年分	2009～2014 年分	2014 年分
和文原著論文		29	4	—————	—————
英文論文	ファーストオーサー	0	0	0.000（0.000）	0.000（0.000）
	コレスポンデイングオーサー	0	0	0.000（0.000）	0.000（0.000）
	その他	1	0	0.000（0.000）	0.000（0.000）
	合計	1	0	0.000（0.000）	0.000（0.000）

(A) 著書・論文等

(1) 和文：著書等（proceedings を除く）

a. 著書（分担執筆）

1479001

磯見 智恵：第 1 編 スタディ・スキル 6. プレゼンテーション・スキル：前原 澄子，遠藤 俊子（編）：看護学生のための よくわかる大学での学び方，金芳堂，66-77，2014.04

1479002

磯見 智恵：第 1 編 スタディ・スキル 7. ディスカッション・スキル：前原 澄子，遠藤 俊子（編）：看護学生のための よくわかる大学での学び方，金芳堂，78-86，2014.04

(2) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

(1379038)

+釧内由香里, +澁谷千尋, +中村隼人, +諏訪万恵, +高嶋薫, 酒井 明子: 手術室看護師と病棟看護師の手術患者情報に対する認識の相違（第Ⅰ報）. 日本手術室看護学会, 2014.02

1479003

+笹部 陽子, 繁田 里美, +西柳 美奈: 終末期がん患者・家族とのコミュニケーションにストレスを感じる看護師の思考の傾向. 日本看護学会論文集：成人看護Ⅱ, 44, 66-69, 2014.04

1479004

+井上 和也, 酒井 明子: 集中治療室に緊急入室した意識障害のある患者の家族援助に影響するエキスパートナースの直観に関する研究. 日本看護科学会誌, 34, 235-244, 2014.12

1479005

中村 陽子: 重病下の認知症高齢者のせん妄に関する病院看護師の意識. 福井大学医学部研究雑誌, 15 (1), 19-37, 2015.01

(B) 学会発表等

● 国際学会

a. 一般講演（口演）

1479006

A.sakai, S.shigeta, K.Asou, T.Shimizu: A Study of the Meaning of Discourse on Disaster Experiences for Victims of the Great East Japan Earthquake, The 3rd Reserch Conference of World Society of Disaster Nursing, 2014.06, Beijing (China)

b. 一般講演（ポスター）

1479007

+H.Kuroda, +M.Ohara, A.sakai, +T.yamazaki: The Present state and evaluation of developing disaster nursing coordinators, The 3rd Reserch Conference of World Society of Disaster Nursing, 2014.06, Beijing (China)

● 国内学会（全国レベル）

a. 一般講演（口演）

1479008

*佐々木 優子, *井上 理恵, *山田 寛子, *前田 千夏, *田畑 阿由美, *齊川 みゆき, 清水 蒼子: DTBT 調査～短縮に向けての検討～, 第45回日本看護学会急性期看護学術集会, 2014.10, 神奈川県

b. 一般講演（ポスター）

1479009

清水 蒼子, 酒井 明子, 繁田 里美, 月田 佳寿美, 麻生 佳愛: 慢性疾患をもつ老年期の被災者の健康管理 -被災者の生活に焦点をあてて-, 日本災害看護学会 第16回年次大会, 2014.08, 東京

1479010

月田 佳寿美, 清水 誉子, 酒井 明子, 繁田 里美: 過疎地域における住民の災害への意識と防災対策の現状, 日本災害看護学会 第 16 回年次大会, 2014. 08

1479011

+内海 香子, +清水 安子, +鈴木 純恵, 麻生 佳愛, 磯見 智恵, +佐藤 佳子, +福田 敏子, +小沼 真由美, +海老原 輝江, +木村 紀子: ステロイド糖尿病を発症した患者の病気の受け止め、セルフケアの困難と実施内容ー全身性エリテマトーデスの女性の事例分析ー, 第 19 回日本糖尿病教育・看護学会, 2014. 08, 岐阜

1479012

*青池 智小都, *横井 真弓, *若島 貴恵, *山越 節子, 繁田 里美: 再発した婦人科がん患者の配偶者の体験に沿った思い, 日本看護研究学会第 40 回学術集会, 2014. 08, 奈良県, 日本看護研究学会雑誌, 37 (3) , 2014

1479013

*釧内 由香里, *諏訪 万恵, *中村 隼人, *朝倉 佑介, 酒井 明子: 手術室看護師と病棟看護師の手術患者情報に対する認識の相違 (第 2 報) , 第 28 回日本手術看護学会年次大会, 2014. 10, 福岡

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期 間 (年度)	金 額 (配分額)
平成 26 年度 「地 (知) の拠点 整備事業 (大学 COC 事業)」	消防団への大 学生防災サポ ーター拡大, 学生の災害時 における応援 体制整備, 防 災訓練等の合 同実施		酒井 明子	清水 誉子, 繁田 里美, 月田 佳寿美, 麻生 佳愛	2014. 04~ 2015. 03	799 千円

区分	研究種目	課 題 名	代表者名	分担者名	期 間 (年度)	金 額 (配分額)
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究 (C) (一般)	災害初期から中 長期における被 災者および支援 者の継続的な心 理的支援体制の 構築	酒井 明子	繁田 里美, 月田 佳寿美, 麻生 佳愛	2014	1, 560 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究 (C) (一般)	糖尿病とその他 の疾患を併せ持 つ高齢患者の看 護支援システムの 構築	麻生 佳愛	酒井 明子, 繁田 里美, 中村 陽子, 月田 佳寿美, 清水 誉子	2014	1, 040 千円
文部科学省科学 研究費補助金	若手研究 (B)	慢性疾患を持つ 被災者の健康管 理 ―老年期と 中年期の被災者 に焦点を当てて―	清水 誉子		2014	1, 040 千円

学内競争的資金	競争的配分経費・教育	平成 26 年度 「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」	*上野 栄一	*出口 洋二, *繁田 里美, +縣 留美, +間所 奈美恵, +越後 美香	2014	784 千円
学内競争的資金	競争的配分経費・教育	平成 26 年度 「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」	*磯見 智恵	酒井 明子, 繁田 里美	2014	816 千円
学内競争的資金	競争的配分経費・教育	現場に対応できる高度実践看護師育成にむけた新たな大学院教育環境の整備	酒井 明子		2014	800 千円

(B) 奨学寄附金

受入件数	1 件
受入金額	133,071 円

5. その他の研究関連活動

(A) 学会の実績

学会の名称	役職名	氏名
日本看護学教育学会	評議員	酒井 明子

(B) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員の別	氏名
日本看護科学会誌	編集委員	酒井 明子

(C) その他

<報道> ・繁田 里美：県民公開シンポジウム「がん診療最前線」，福井新聞，2015.01.25 ・繁田 里美：セラピー犬にがん患者笑顔 福井大で交流「ラッキー」と 40 名，福井新聞，2015.03.08
--

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関・委員会の名称等	役職	氏名	期間
公益法人等	日本看護協会	代議員	酒井 明子	2014.07～
公益法人等	日本看護系大学協議会，専門看護師教育課程認定委員会	委員	酒井 明子	2014.07～

公益法人	福井県看護協会	理事	酒井 明子	2012.04～
公益法人	福井県看護協会， 基礎看護教育委員会	委員	磯見 智恵	2014.04～
その他	北陸がんプロフェッショナル認定機構		磯見 智恵	2014.04～
その他	福井県緩和医療研究会	幹事	繁田 里美	2012.04～
その他	日本糖尿病教育・看護学会	委員	麻生 佳愛	2012.09.28～ 2014.09.27

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
公開講座	がん看護実践力向上研修，がん看護とは	福井県看護協会 専門職業人	繁田 里美
公開講座	看護実践能力開発講座 不整脈を克服しよう	福井大学大学院医学研究科 看護キャリアアップセンタ ー，専門職業人・一般，32 人	繁田 里美
公開講座	文部科学省「地（知）の拠点整備事業」，学ぼう！災害時の応急手当	福井大学、永平寺町，一般， 162 人	*岩井 善郎， 酒井 明子， *磯見 智恵， 繁田 里美， 月田 佳寿美， 清水 誉子， 高久 範江， 森川 寛之， *植村 知香， +朝田 和枝， *井上 理恵， +窪田 直美， +酒井 彰久， +長谷川 美智子， +大久保 貴仁， +作川 真悟， +花房 八智代， +和田 志保美
講演・セミナー等	福井県実習指導者養成講習会 「実習指導の意義・役割」 「実習指導者としての課題」	福井県看護協会 専門職業人	磯見 智恵
講演・セミナー等	福井県実習指導者養成講習会 「実習指導者のための文献検索とレポートの書き方」	福井県看護協会 専門職業人	月田 佳寿美
講演・セミナー等	福井県実習指導者養成講習会 「成人看護学(慢性期)」 「慢性期実習の実際」 「実習指導案作成」 「指導案発表会」	福井県看護協会 専門職業人	繁田 里美
講演・セミナー等	福井県看護協会 定例研修，看護研究グループ指導	福井県看護協会 専門職業人	清水 誉子
講演・セミナー等	看護実践能力開発講座， 「ナースのためのベッドサイドリハビリテーション」	福井大学大学院医学系研究 科看護キャリアアップセン ター，専門職業人	*野々山忠芳， *久保田雅史， 月田 佳寿美
講演・セミナー等	県民公開シンポジウム「がん診療最前線」，講演「みのり会の活動」	一般	繁田 里美

(B) その他業績

- 酒井 明子：NPO 法人 命のバトン，理事，2014. 04～
- 麻生 佳愛：ふくいピンクリボンの会，運営委員，2006～
- 麻生 佳愛：福井糖尿病看護研究会，2006～
- 繁田 里美（事務局），酒井 明子，磯見 智恵，麻生 佳愛，中村 陽子，月田 佳寿美，清水 誉子，高久 範江，森川 寛之，鈴木美栄子（運営委員）：がん体験者の会『みのり会』，2014. 04～